

はじめに：聖霊とは

ペンテコステおめでとうございます！今日は教会の暦でペンテコステ・聖霊降臨日です。聖霊なる神さまが私たちのもとに降ってきてくださったことを覚えて今朝はともに礼拝をささげています。聖霊なる神さまの豊かな恵みと平安が皆様の上に豊かにありますよう、心から祈ります。

聖霊とは三位一体の神さまの一つの位格です。父なる神さま、子なるイエスさま、そして聖霊なる神さまを私たちは信じています。この聖霊が私たちのうちに降ってきてくださった。今朝の礼拝の招きの言葉で読んでいただきましたように、聖霊が弟子たちに降ってきてくださった。それを覚え感謝するのがこのペンテコステ・聖霊降臨日です。

この聖霊にはいろいろなご性質、また役割があります。まずこの聖霊は私たちにイエスさまを信じる信仰を与えてくださるお方です。イエスさまを信じる者とされていること、そこに導かれていることに聖霊の働きが確かにある。私たちがイエスさまを信じていると言うことが、聖霊が私たちのうちに働いているしるしであるということです。私たちは自分自身の決断や意志において信じるわけですが、その背後には聖霊なる神さまの働きがある。聖霊の力と導きによって、私たちはイエスさまを信じる恵みに与っているのだということをまず覚えたいと思います。コリント人への手紙第一 12章3節。

ですから、あなたがたに次のことを教えておきます。神の御霊によって語る者はだれも「イエスは、のろわれよ」と言うことはなく、また、聖霊によるのでなければ、だれも「イエスは主です」と言うことはできません。

またこの聖霊は、私たちイエスさまにある者たちを一つにしてく下さるお方です。私は先週日本福音同盟(JEA)の総会に出席してきました。聖書信仰に立つ教団や団体がともに協力するための活動が日本福音同盟です。JEAにはたくさんの教団や団体が加盟しています。神学的な考え方や背景も様々ですが、ともに同じイエスさまの名の元に集められともに主を礼拝し会議をし交わりをする。そのような幸いな時を過ごすことができました。いろいろな違いを持ちながらも一緒に協力し励まし合うことができる。一つとなって日本の宣教のため祈り励むことができる。それらは御霊の働き、聖霊による一致があるからこそできることだと思われました。今礼拝で読んでいるエペソ人への手紙 4章1-4節にはこうあります。

さて、主にある囚人の私はあなたがたに勧めます。あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい。

謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、

平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。

あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです。

聖霊は私たち教会を一つにしてく下さり、主にある諸教会、諸教団諸団体を一つにしてく下さる。聖霊が今も生きて働き、私たちのうちにいてくださることを私たちは改めて感謝したいと思います。そしてこの御霊による一致をますます熱心に保っていく私たちとされたいと願うのです。

もう一人の助け主

そして今朝の礼拝では特に、聖書がこの聖霊を「助け主」と教えていること。イエスさまご自身が聖霊を「助け主」と呼ばれたことをともに覚えたいと思います。今日の箇所は、十字架の前にイエスさまが弟子たちに語られたみことばです。イエスさまはご自分が十字架にかかれ復活し天に上られた後、聖霊を送ってくださると約束されました。今日先ほど読んでいただいたヨハネの福音書14章16節にこうあります。

そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにして下さいます。

イエスさまが父なる神さまにお願いすると、もう一人の助け主を送ってくださる。イエスさまが地上を去られた後、助け主なる聖霊が送られてくる。そうイエスさまは約束してくださいました。助け主という言葉は「パレクレートス」というギリシャ語です。この言葉の元々の意味は、呼び出された者、近くに呼ばれた者、という意味の言葉です。弁護者や慰める者とも訳されます。私たちの信仰の歩みを助け支え、私たちの心に慰めをお与えくださるお方。私たちを近くで励まし見守り、時に代弁者、弁護者となってくださるお方。それが聖霊なる神さまなのです。私たちの信仰の歩みを支えるお方が私たちのところに来てくださる。それもいつまでも私たちとともにいてくださるとイエスさまは約束されました。聖霊は私たちの心に住んでくださり、私たちの信仰の歩みを支え導いてくださいます。私たち自身は弱く罪深く、時に信仰を見失いそうになることもあるわけですが、聖霊はいつまでも私たちとともにいて

くださって、私たちを支え励ましてくださる。悲しみや痛み、苦しみを経験する中にも慰めを与え、平安を与えてくださる。それが聖書の約束です。

そして「もう一人の」と今日の箇所では言われています。これは誰ともう一人、でしょうか？聖霊ともう一人の助け主、それはイエスさまのことです。弟子たちの助け主であられたイエスさま。このお方と同じくもう一人の助け主として、聖霊が弟子たちに与えられるのだとイエスさまは約束されました。イエスさまの地上でのお働き。弟子たちを教え助け支え励ましてくださったイエスさまのみわざが、聖霊を通してなされていくということです。イエスさまが助け主を送ってくださる、聖霊が送られると言う時、それは全く別のイエスさまと関係ないお方が来る、と言うことではありません。私たちのところに来てくださった聖霊、私のうちにあなたのうちにおられる聖霊はイエスさまの御霊、イエスさまの御心を私たちに示し教え、私たちの心をイエスさまへと向けてくださるお方なのです。

聖書は聖霊のことを「キリストの御霊」、イエスさまの御霊と表現します。ローマ人への手紙8章8-10節。

肉のうちにある者は神を喜ばせることができません。しかし、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉のうちにではなく、御霊のうちにいるのです。もし、キリストの御霊を持っていない人がいれば、その人はキリストのものではありません。

キリストがあなたがたのうちに住んでおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、御霊が義のゆえにいのちとなっています。

ここでは聖霊をいろいろな呼び方で呼んでいます。神の御霊、キリストの御霊、そしてキリストがあなたの方のうちに住んでおられる、と言われています。聖霊とイエスさまは別々の位格ですけれども、聖霊が私たちのうちに住んでおられるということはイエスさまが私のうちに住んでおられることと同じであると、聖霊を通してイエスさまは私たちのうちに私たちとともにいつも住んでおられることだと聖書は教えている、ということです。

聖霊が私たちに与えられている。それはイエスさまが私のうちに住んでいてくださることだ。今日も今月の賛美で「キリストの心がわがうちに造られる」と賛美しました。聖霊なる神さまの働きによって、イエスさまが私のうちに住んでくださる。そして私たちの心がキリストの心に、イエスさまの愛の心に作り変えられていく。そのような恵みを私たちは受けています。聖霊なる神さまの助けと導きを覚え感謝しつつ、御前に成長していく私たちとされたいと思います。

私自身、ここまで自分がイエスさまを信じる歩みをしていること、この教会の礼拝の場にいることが許されていること。それはこの聖霊なる神さまの働きに他なりません。聖霊なる神さまが私のうちに働いてくださり信仰を与えてくださった。イエスさまへと私の心を向けさせてくださった。そのことがあったから今の私があるのだと思っています。イエスさまを信じた後も迷い続ける私を支え助け、悲しみ痛みの時には慰めてくださった。どのように祈ったら良いかわからない時にも祈ることができないほどに信仰が弱り果てた時にも、聖霊なる神さまが弁護者となり私のためとりなしていてくださった。そのような聖霊の働きがあったからこそ、私は信仰者としての歩み続けることができている。そのように思います。皆さんもそうだと思います。助け主、慰め主なる聖霊が今日も私たちのうちに住んでいてくださる。キリストの御霊が私のうちにあなたのうちにおられる。この聖霊の促しと助けを受けて、一歩ずつ進んでいく私たちでありたいと思うのです。

真理の御霊

そしてこの聖霊は、真理の御霊であられると言われています。今日の17節。

この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともに住まれ、また、あなたがたのうちに住まれるようになるのです。

この方は真理の御霊です。聖霊はただお優しい方とか、励ましてくださるお方であるというだけでなく、真理の御霊であられる。このお方は私たちに真理、本当のことを教えてくださり、そこに立ち続けることができるようにと支え励ましてくださるお方だ、ということです。ここで言う真理とは一体なんなのでしょうか？イエスさまはこう言われました。同じ14章の6節。

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに行くことはできません。」

イエスさまこそ真理であられる。道真理、いのちであられるイエスさま。このイエスさまの愛と恵みを指し示してくださるのが聖霊なる神さまなのです。さらに14章26節。

しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

真理の御霊であられる聖霊はイエスさまが弟子たちに話したすべてのことを思い起こさせてくださる。私たちに真理を示しイエスさまを示し、イエスさまのみことばを思い起こさせてくださるお方。それが聖霊であるということです。私たちのうちに働いて真理を示し、イエスさまに従う思い力を与えてくださる聖霊の恵みに、私たちは信頼する者でありたいと思います。

今私たち八千代聖書教会は昨年迎えた40周年の記念誌を発行しようとしています。40年の年を過ぎてしまいましたが近々、編集を終えて印刷に入る予定です。ちょうど先日私はこの原稿のチェックをしていました。改めて皆さんのお証を読ませていただき、神さまの恵みが八千代聖書教会に、そこに連なる一人ひとりに注がれていることを覚え感謝したことでした。そしてこの記念誌はまさしく、聖霊が私たちのうちに働いてなしてくださったみわざを証するものである。そんなことを思わされています。私たちのうちにおられる助け主なる聖霊が、私たちそれぞれの信仰の歩み、教会の歩みを守り励ましてくださった。真理の御霊であられる聖霊が、イエス・キリストの恵みと真実を私たちに教え、真理のうちに私たち教会を支え導いてくださった。私たちのうちに、この教会に確かに聖霊が生きて働いていてくださることを覚える。そんな記念誌となっていることを感謝しています。ぜひ引き続き、記念誌の完成を楽しみに、編纂のためお祈りください。そしてこれからも、聖霊によって真理を示され、イエスさまを信じ従う私たち、みことばの真理にいつも教えられ成長させられていく八千代聖書教会とさせていただきたいと思います。

そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてくださいます。

もう一人の助け主。聖霊の力と助けを受け、いつもイエスさまを見上げて歩む私たちでありたいと思います。真理の御霊、イエスさまをいつも指し示してくださる聖霊の力に感謝し、今週もイエスさまに信頼し従う歩みをさせていただきましょう。聖霊なる神さまの恵みと慰め、平安が皆さまに豊かにありますように。

お祈りをいたします。「私たちに助け主聖霊をお送りくださった、父なる神さま。みことばを感謝いたします。私たちのうちにおられ、私たちを助け支え慰めてくださる聖霊の恵みを今朝ともに覚えることができ、感謝いたします。聖霊の力と助けにより、真理であられるイエスさまを日々見上げ、イエスさまに従う私たちとなることができるよう、どうぞ導いてください。みことばと聖霊により日々成長していく私たちとならせてくださいますように。主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。」